

2015年3月31日
東ソー株式会社

メタロセン系新触媒で初の超高分子量ポリエチレンを開発

東ソーは独自の触媒技術により、分子量分布の幅が狭く、世界最高水準の分子量を有する、超高分子量ポリエチレン（デカミレン[®]）を開発しました。

超高分子量ポリエチレンは、耐摩耗性、破断強度などに優れたポリエチレンで、ベアリングやローラーなどの摺動部材、高強度繊維、リチウムイオン二次電池のセパレーターなどの幅広い分野で使用されています。当社開発品は分子量分布の幅が狭いことで、高強度化・クリーン性の向上が期待されます。

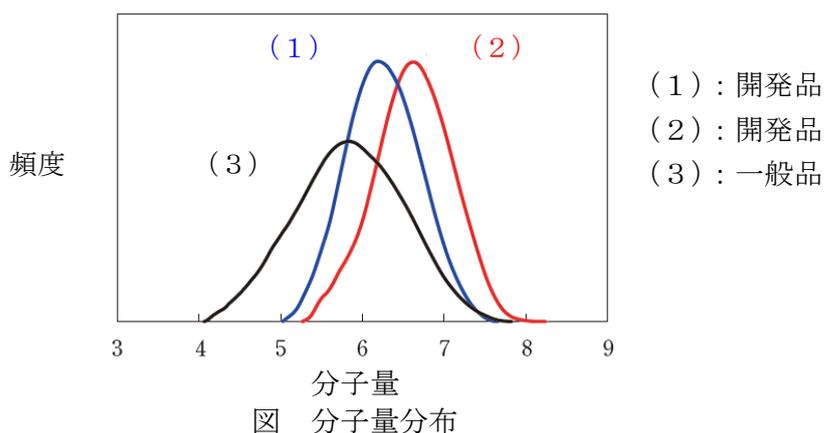
今後はサンプルワークを本格的に実施し、事業化を検討していきます。

記

1. 開発品の特長

- <分子量範囲> 100万～1,500万
※一般の超高分子量ポリエチレン分子量は1,000万未満
- <使用触媒> メタロセン系新触媒
- <形状> 粒子径50～150ミクロン、白色粉体
- <性能> 超高分子量化により、耐摩耗性、破断強度の向上が期待できる
(破断強度・・・引張りに対する強さ)

※詳細は「超高分子量メタロセンポリエチレンの物性」(当社技術レポート)
http://www.tosoh.co.jp/technology/assets/2014_02_02.pdfをご参照下さい。



2. 開発品のお問い合わせ先

研究企画部 TEL : 03-5427-5117

以上